長崎医療センター
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS

専齋 SENSAI

2023 MAY VOL.413

発行所
独立行政法人国立病院機構
長崎医療センター
〒856-8562
長崎県大村市久原2丁目1001-1
TEL 0957-52-3121
FAX 0957-54-0292



宜雨宜晴亭に集った研修医代表の諸君です。

院長コラム　Vol.1

部長紹介
臨床検査部長　長井 一浩

明日を担う Vol.17
・添田 李子（病理診断科専攻医）

TOPICS
・学会開催報告
・当院のインスタグラム、紹介します！

ガーデニングだより Vol.5

院内さるく Vol.6 ドクターズクラーク

臨床検査科だより Vol.4

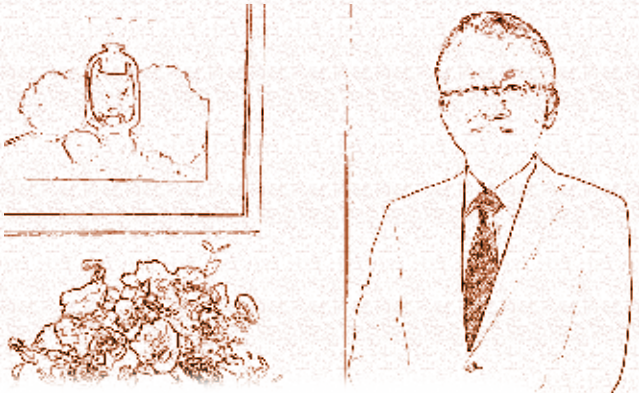
外来診療担当医一覧

長與 專齋（1838年～1902年）

大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめて採用したのも專齋である。專齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

院長コラム

国立病院機構長崎医療センター
院長　八橋 弘



Vol.1　巻頭言のその後 -コロナ流行の3年間と「人」

今年の2月、長崎医療センター診療年報（診療業績集）2022年の巻頭言を書き上げました。それから3か月が過ぎた今、巻頭言に私が書き記したように新型コロナウイルスの新規感染者数は減少した状態が続いています。その理由は、複数回のワクチン接種と自然感染による集団免疫が部分的に成立しているからと考えられ、しばらくこのような状態が続くと予想しています。5月8日には2類感染症から5類感染症への引き下げがおこなわれ、私たちは確実にコロナ流行前の社会生活に戻ろうとしています。

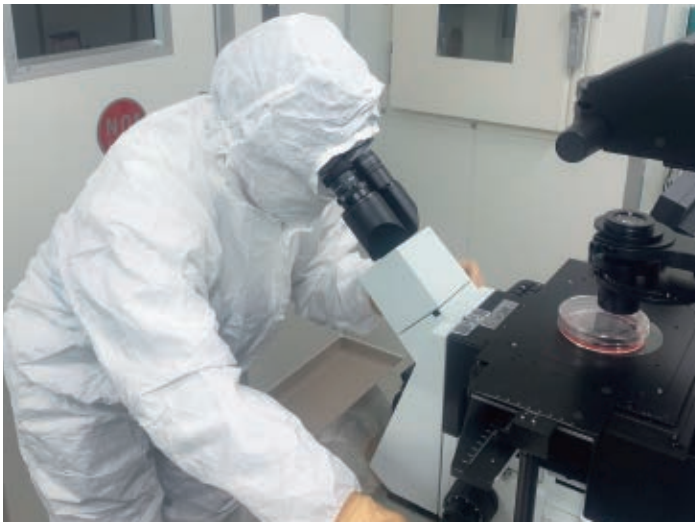
診療年報2022は、オミクロン株が3-4か月の周期で流行した時の長崎医療センターの診療実績をまとめたものです。コロナ感染者が増加した時には、一般患者さんの入院を抑制することでコロナ対応の病床と病院職員数を確保し、コロナ感染者が減少した時にはその抑制を解除するという調節を繰り返しおこないながら病院を運営してきました。しかしながら、コロナ流行の極期には病院職員も家族からの感染で仕事を休まなければならない状況に陥りました。患者さんにかかわることができる病院職員数が制限された時においても長崎医療センターの救急外来は一日も閉鎖することはありませんでした。24時間356日、コロナ感染の有無にかかわらず全ての急患患者を受け入れてきました。どうしてそれができたのか、私は病院職員同士が、困難な時にこそ相手のことを思いやりお互い助け合ってきたこと、そして当院の周辺の医療機関や医師会の先生方そして保健所などの行政が「当院をコロナでつぶしてはならない」と必死で支えていただいたこと、この2つの理由によると考えています。

いかなる時においても、患者さんや地域住民の方が必要とする医療を継続的に提供することが長崎医療センターの使命です。コロナ流行の3年間、他の地域ではできなかったこと、他の病院ではできなかったことも、長崎医療センターではやりとげることができたと考えています。

コロナ診療を確保する上で、コロナ専用病床数がその目安として取り上げられてきました。しかしながら、病床が確保できてもそれに対応できる医療従事者がいなければ、その病床数は単なる空ベッドの数に過ぎません。大切なことは、確保した病床の数ではなくそれに対応できる「人」の数である、そのような当たり前のことに気が付くのに、3年を要したように思います。

年報に書かれてある患者さんの数、「人」の数の中にも、ひとりひとりの病気があり、ひとりひとりの命があり、そして、ひとりひとりの人生があるように思います。年報には多くの患者さんに関する数字と病院職員がおこなった診療実績や業績に関する数字が書かれてあります。病院は、立派な建物や最新鋭の医療機器で成り立っているのではなく、そこで働く病院職員と医療を必要とする患者さんのふたつで成り立っている、年報に書かれてある数字は私たちが最も大切にすべき「人」の数である、年報の巻頭言を書き終えて3か月が立った今、改めて思っています。

臨床検査部長　長井　一浩



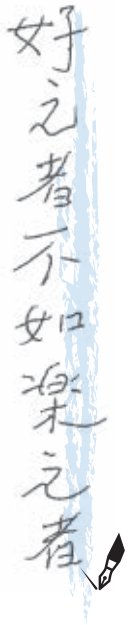
長崎大学のクリーンルームで細胞製剤製造作業中。
誰だか見分けがつきませんが、私です。

『品質管理は厳しくも楽しい！
～御挨拶に代えて』

皆様、こんにちは。2023年の4月から長崎医療センターに入職いたしました臨床検査科の長井一浩と申します。

私は、生まれも育ちも長崎で、地元の長崎大学を卒業後は、長年、血液内科医としていろいろな病院で仕事をして参りました。2002年からは、大学病院の輸血部というところで、輸血に関わる臨床検査や血液製剤の管理業務、造血幹細胞移植療法や新しい細胞医療に関わる細胞処理や保管・管理を担当していました。この過程で、血液・細胞製剤の「品質管理」について深く携わることが出来ました。

そういった経緯から、この度おかげさまでこの長崎医療センターでは臨床検査科という部署において職務をスタート致しましたことには、長年の積み重ねの先に繋がる御縁のようなものを感じています。





長崎医療センターの検査科スタッフと（左が私です）。

臨床検査科では、患者さんから頂いた様々な試料や情報を用いて必要な検査を行い、担当の医師による疾患の診断や診療方針に関わる判断を支援する業務を行っています。現代の精密で高度な医療を適切・円滑・安全に進めるために、臨床検査は重要な役割を担っています。また、検査内容の種類は実に多様で、更に医学の進歩に伴い日日新しい検査項目が実用化されています。ですから、検査の正確性・安定性・迅速性等といった「品質」を維持・向上させるための弛まぬ活動によって、その結果を医療スタッフや患者さんの元にお届け出来ることを私達臨床検査科の使命としているのです。

臨床検査科には意欲に溢れた優秀な検査技師が、抜群のチームワークで日日の業務に携わっています。皆で力を合わせ、患者さんのご病気の治療や健康生活の向上に全力で貢献してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

明日を担う Vol.17

当院の“明日を担う”スタッフに、
work、life、そしてvisionを語ってもらいましょう。



病理診断科専攻医

添田（そえだ） 李子（ももこ）

profile

出身地：広島県

好きな曲：椎名林檎「人生は夢だらけ」

Q：医師を目指したきっかけは何ですか？

A：元々何か人の役に立つ仕事をしたいと考えており、親族に医療関係者が多い事もあって、自然と医師という仕事を意識するようになりました。

Q：専門を“病理診断科”に決めた理由は？

A：学生時代病理学の授業で、同じ「腫瘍」に分類されても、それぞれ組織所見が違う事を学び、覚えるのは大変だけど面白いなぁと感じました。以降、病理医になる事も選択肢の1つとなりました。研修医になり、実際に病理診断科で研修して、率直に病理診断が楽しく、他科と比べて時間の拘束が少ない点や、on offがはっきりしている点が魅力的でした。腰を据えて物事に取り組む方が得意な自分の性格とも合っていると思いました。

Q：日々の業務内容を教えてください。

A：患者さんから採取、切除された検体を観察し、診断に必要な部分を切り出す事や、標本を顕微鏡で検鏡し、疾患の良悪やその種類を診断する事が主な業務です。その他、依頼があった際は術中迅速診断や病理解剖を行います。病理解剖では患者さんが亡くなった病態について肉眼的、組織学的を含めて検討します。患者さんを直接診察する事はありませんが、組織を診断し、治療に繋げるというチーム医療の一端を担っています。

Q：仕事で大切にされていることは何ですか？

A：一緒に働く先生、検査技師さん達との「ほう(報告)・れん(連絡)・そう(相談)」です。主治医の先生とコミュニケーションを取り、患者さんの状態を適切に把握する事は正しい診断に近づくために重要です。また、全身の幅広い疾患の組織所見を理解しなければならないので、分からない事は出来るだけ早く調べる事も大切にしています。

Q：現在の働き方はいかがですか？

A：当院の病理診断科は雰囲気が良いので居心地が良く、働きやすい環境です。やはり症例数が増えてくると忙しくなりますが、自分で“今日は何時まで頑張ろう！”とフレキシブルに決めて進める事が出来るので、日々の体調管理も含めて調整しています。

Q：オフの時間の過ごし方は？

A：疲れを翌週に持ち越さないために、基本的に気の赴くまま、ゆっくり過ごしています。業務はデスクワークが主体なので、運動不足が気になりはじめ、最近は自宅で出来るトレーニングを少し取り入れました。

Q：今後の目標を教えてください。

A：経験を積んで信頼していただける病理医に一歩ずつ近づく事です。また、「顕微鏡実習辛かった」「病理分かんないから嫌い」等のマイナスイメージを払拭するべく、病理診断科研修や臨床病理カンファレンス(CPC)で出会う研修医の先生方に「病理って面白いかも！」と思っていただけるよう、病理学の魅力を伝えていけたらいいなと思います。

Q：最後にひとことお願いします。

A：疾患の多様化に伴って病理診断症例数は増加傾向なのに対し、病理医は全国的に不足しています。病理学に興味がある方や専攻科に伴い病理を勉強したいと考えている方がいらっしゃいましたら、1度、病理診断科で研修してみませんか？お気軽にご相談ください。



TOPICS

学会開催報告

第63回日本肺癌学会九州支部学術集会
第46回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会 会長
臨床研究センター長 / 呼吸器外科部長　田川 努

呼吸器外科の田川 努です。2023年 2月10日～11日の2日間、出島メッセ長崎で第63回日本肺癌学会九州支部学術集会、第46回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会を開催しました。学会テーマは「語り継ぎたい肺癌学と気管支学」で、特別企画「私の得意技、伝えたい経験」をはじめ多くの貴重な御発表をいただき活発な討論がなされました。コロナ禍にもかかわらず300名近くのかたに御参加いただき、盛会裏に無事終了しました。

2月11日午後には市民公開講座、「ここまで進歩した肺がんの治療」を開催し、ミライon図書館にWEB配信され、同時に開催された「長崎医療センター市民公開講座がんフォーラム」とコラボし、多くの大村市民、長崎市民においでいただくことができました。

開催にあたりましては、八橋 弘院長に多岐にわたり御支援と御助言を賜り、さらには早朝にもかかわらず開会式にもおいでいただき心より御礼を申し上げます。

当日の学会運営は、オール長崎医療センターで行うことができました。呼吸器内科、呼吸器外科の先生方、





中村太祐先生、田淵貴子師長、６Ａ看護師の皆さま、荒木伸也経営企画室長、浦山晶子MSW、元６Ａ師長の指宿医療センター山下美香看護部長、当院研修医ＯＧの山口彩先生、森真美子先生、日赤諫早病院水田玲美先生、そのほかお手伝いご助言いただいた多くの方々に御礼申し上げます。また、長崎大学腫瘍外科、同門会、医師会、協賛いただいた多くの企業にも深く感謝申し上げます。ありがとうございました。







当院のインスタグラム、紹介します！

長崎医療センターでは、SNSにて当院における研究、診療、採用情報などの取り組み等を発信するため、公式Facebookページ及びInstagramアカウント、YouTubeアカウントを開設しております。各診療科もそれぞれの魅力を発信しております！ぜひ一度ご覧ください。「フォロー」お待ちしています！！

救急科

NMC_H99



新しい仲間
募集中！

整形外科

NMC_ORTHOPEDICS



日々の診療や
イベントごとを
不定期にUP！

総合診療科

NMC_PRIMARYCARE.GIM

Nagasaki Medical Center

"Generalismを通じて人々がその人らしく過ごせるように
To provide better lifebased on the power of Generalism"

長崎医療センター

NAGASAKI_MEDICAL_CENTER



院内さるく

Vol.6 ドクターズクラーク

当院では現在４１名のドクターズクラーク（医師事務作業補助者）が勤務しており、外来診療におけるカルテ代行入力、診断書、紹介状、退院サマリーの作成代行など、多くの事務作業に携わっていただき、医師の業務負担軽減に大きく貢献していただいています。業務上、他部署の皆様にもドクターズクラークから問い合わせなどあるかと思いますが、その際はよろしくお願いいたします。



ガーデニング便り

Vol.5

今回紹介するのは、ビオラ、パンジーの小型版です。開花期間が長く、冬から春まで楽しめます。元気がなくなった花を摘み取る「花がら摘み」をこまめに行うことが美しさを維持するポイントです。地植えにも鉢植えにも欠かせない花で、同色系でまとめると品よく仕上がります。

副院長　黒木 保



臨床検査科だより Vol.4

AI×臨床検査技師

臨床検査科　手嶋 翔一朗

近年、「Deep learning」「Chat GPT」「Bard」などAIに関するキーワードが話題になっています。臨床検査のあらゆる領域においてもAI参入、自動化が進んでおり、当科の理念である「正確で迅速なデータの提供」の一翼を担っています。

分析装置が血液細胞や尿中に出現する細胞を分類したり、エコー画像を解析しワンタッチで計測出来たり、基準値内の採血項目を自動報告したり、コンピュータ上で輸血製剤と患者血液型の照合確認が出来たりとAIは診断・治療の一助となっていますが、最終的には我々臨床検査技師が介入し、臨床へ情報提供している症例も多く存在します。

今後はより深い専門性が求められるとされ、当科でも知識・技術の向上に努めています。特に教育面には力を入れており、顕微鏡を使った細胞、血液など形態所見を定期的に上級技師と共有したり、超音波検査では独り立ちするのに約1000件の症例を目安として経験したりと実践的なスキルをより早く身に付ける環境を整えています。





全国の国立病院機構スタッフが一堂に会する国立病院総合医学会をはじめ、各種専門学会、研修会に参加し、演題発表やポスター発表、論文執筆などの学術活動を積極的に行いスタッフ同士で士気を高めあっています。また、臨床や他診療支援部門とも情報共有することで検査を円滑に進めるべくコミュニケーションを図っています。当科は生化学・輸血・一般血液・病理・微生物・生理超音波・採血部門で構成されており、それぞれの部署に認定資格を有した検査のスペシャリストが在籍しています。検査に関してお困りの際はお気軽にお問い合わせください。







外来診療担当医一覧表

受付時間　8時30分～11時30分（ただし急患はその限りではありません。）

（★は新患対応）令和5年6月1日現在

	月	火	水	木	金
総合診療科	当番制	当番制	当番制	当番制	当番制
肝臓内科	★長岡　進矢 ★末廣　智之 ★松本　耕輔 ★山﨑　一美	★佐伯　哲 ★末廣　智之 ★釘山　有希	八橋　弘 ★小森　敦正 ★山﨑　一美	★長岡　進矢 ★本吉　康英 ★小森　敦正	★本吉　康英 ★釘山　有希
消化管内科　午前	★西山　仁	★後藤　高介 ★三根　祥一郎	★西山　仁		★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患　専門外来） ★今村　祥子
内分泌・代謝内科	★安井　順一 ★柿田　実紀 明島　淳也	★明島　淳也 安井　順一 柿田　実紀	★安井　順一 明島　淳也	★明島　淳也 安井　順一	
腎臓内科	★岡　哲 山下　由恵		★荒木　慎平 岡　哲	山下　由恵	★山下　由恵 荒木　慎平
循環器内科　午前	★於久　幸治	★福田　侑甫	森　彩	★松尾　崇史 ★石松　卓（不整脈）	★深江　貴芸
循環器内科　午後	★鶴川　晃二郎	★石松　卓（不整脈） ★福田　侑甫	於久　幸治	石松　卓（不整脈）	
呼吸器内科	★原　敦子 池田　喬哉	★峯　慧輔	近藤　晃 ★池田　喬哉	★瀬戸口　大地	★近藤　晃 原　敦子
血液内科	小林　裕児 ★榊　智佳	★今泉　芳孝	吉田　真一郎	今泉　芳孝 ★小林　裕児	午前　吉田　真一郎 午後　★西村　紗央里
脳神経内科 （神経内科）	午前　★徳田　昌紘 午後　忽那　史也	★岩永　洋	徳田　昌紘		★岩永　洋
膠原病・リウマチ内科	★岡田　覚丈		★岩永　希	★岩永　希	午後　★岡田　覚丈
小児科　午前	★末永　英世（新生児・乳児） ★本田　涼子（神経） ★山田　洸夢（第2・3・4） （心臓・一般） ★西口　奈菜子（神経・一般） 桑原　義典（第1）（心臓）	★安　忠輝（神経） ★石橋　洋子（一般・心臓） ★濱口　陽（新生児・乳児） ★石川　太郎（一般） 田中　茂樹（神経） 本村　秀樹（心臓）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★本田　涼子（神経） ★和泉　啓（内分泌） ★山田　洸夢（心臓・一般）	★西口　亮（第1・3・5） （新生児・乳児） ★石橋　信弘 （心臓・一般） ★石川　太郎（一般） ★池田　憲呼（神経・一般）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★山口　倫人（一般） 本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経） ★白石　亮（新生児・乳児）
小児科　午後	★小児外科（第3週） 本村　秀樹（心臓） 発達外来	★本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）	一ヶ月健診 ★大学医・当番医（内分泌）	発達外来	シナジス外来
精神科	★倉田　青弥 蓬莱　彰士	★倉田　青弥 蓬莱　彰士 志方　有莉	★蓬莱　彰士	★蓬莱　彰士 志方　有莉 倉田　青弥	★志方　有莉 倉田　青弥
皮膚科　①外来紹介・新患	石川　博士	里見　直義	石川　博士	里見　直義	深水　文惠
皮膚科　②旧患	里見　直義	石川　博士	深水　文惠	石川　博士	里見　直義
皮膚科　③入院中の紹介	深水　文惠	深水　文惠	里見　直義	深水　文惠	石川　博士
外科	★黒木　保（胆・膵） 池田　貴裕 （胆・膵、一般外科）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★福井　彩恵子（一般外科） ★南　恵樹（乳腺•内分泌外科） ★杉山　望（乳腺•内分泌外科）	★北里　周（肝、一般外科）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★南　恵樹（乳腺•内分泌外科） ★杉山　望（乳腺•内分泌外科）	★竹下　浩明 （大腸・肛門・一般外科） 藤岡　ひかる （肝・胆・膵・消化器）
呼吸器外科			★田川　努 ★下山　孝一郎		
緩和ケア科		濵脇　正好	濵脇　正好	濵脇　正好	
心臓血管外科			★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志		★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志 濵脇　正好（再来のみ）
脳神経外科	★小野　智憲 ★原口　渉	★案田　岳夫	★定方　英作	午前　原口　渉 午後　内田　大貴	★小野　智憲 ★吉田　道春
整形外科	★宮本　俊之 山口　圭太	花谷　拓哉（★第1・3・5） （再 第2・4） 大場　陽介（★第2・4） （再 第1・3・5） 向井　順哉	★大場　陽介 熊谷　謙治	★花谷　拓哉 向井　順哉	★森　圭介 大場　陽介（第1・3・5） 山口　圭太（第2・4）
リハビリテーション科	森　圭介	大場　陽介	向井　順哉	花谷　拓哉	宮本　俊之
形成外科	★藤岡　正樹 ★古賀　一史	★出光　茉莉江	★福井　季代子	★藤岡　正樹 ★出光または古賀	★福井　季代子 ★出光または古賀
産婦人科	★古賀　恵 ★福田　雅史	★安日　一郎 ★山下　洋	★菅　幸恵 ★杉見　創 産褥1ヶ月検診（午後）	★五十川　智司 ★山口　純子	★安日　一郎 ★福田　雅史
泌尿器科	★大仁田　亨 ★錦戸　雅春	松屋　福蔵	★錦戸　雅春	★岩田　隆寿	★大仁田　亨 ★柿田　聖大
移植後フォローアップ外来	錦戸　雅春	松屋　福蔵	錦戸　雅春	岩田　隆寿	大仁田　亨
耳鼻咽喉科	★田中　藤信 ★吉田　晴郎 ★二宮　直樹 ★沖田　奈菜	★森　彩加	★田中　藤信 ★吉田　晴郎 ★二宮　直樹	★吉田　晴郎 ★沖田　奈菜	★田中　藤信 ★森　彩加
眼科	★前川　有紀 ★時村　源一郎 ★吉村　遥香 ★髙尾　美貴 ★斉藤　淳哉	★前川　有紀 ★時村　源一郎 ★吉村　遥香 ★髙尾　美貴 ★斉藤　淳哉	午後　中尾　志郎	★前川　有紀 ★時村　源一郎 ★吉村　遥香 ★髙尾　美貴 ★斉藤　淳哉	★前川　有紀 ★時村　源一郎 ★吉村　遥香 ★髙尾　美貴 ★斉藤　淳哉
放射線科（治療）		★中村　太祐 武田　達哉			★中村　太祐 武田　達哉
麻酔科（漢方）　午前のみ		谷口　美和（院内紹介のみ）			

※紹介状なしで受診を希望される患者さんにつきましては、診察料とは別に、選定療養費として7,700円をご負担いただきます。
ただし、紹介状がある場合は選定療養費（7,700円）の負担はありません。「かかりつけ医」等からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。

理　念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実に行い、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- 救急医療の最後の砦となる
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する

長崎医療センター NEWS
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS
https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/
VOL.413